

地域密着型金融への取組み状況

(取組み期間：平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

はじめに

当金庫では、地域密着型金融の取組みについて、平成 15 年 4 月以降、2 次 4 年に亘る「金融再生プログラム」、「金融重点強化プログラム」を着実に遂行し、不良債権問題から脱却するとともに、地域の特性を踏まえた地域経済の活性化を図り、地域を再生するため、精力的に取り組めました。

平成 19 年 4 月からは、地域密着型金融の取組みを恒久的な取組みと位置づけ、地域の情報集積を活用した地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた再生への取組み及び地域活性化につながる多様なサービスの提供によるビジネスモデルの確立を目指してまいりました。

今後も引き続き、当金庫が持つ「つなぐ力」を発揮し、「地域密着型金融の取組み」を深化させ、更なる 地域金融の円滑化、お客様への利便性・満足度の向上、 信頼される健全経営の確保等に努めてまいります。

20 年度の取組み状況を以下の通り報告させていただきます。

・地域密着型金融推進に関する基本的取組み

1. 当金庫の基本方針を遵守し、当金庫の有する経営資源を「活力ある地域づくり」に集中的に投入いたしました。
2. 金融面の支援のみに止まらず、外部企業との提携によるコンサルティング業務の更なる展開、大学・行政等クラスター態勢を充実させ創業・新分野進出企業への更なる支援強化等により、個性ある地域づくりに取り組んでまいりました。
3. きめ細かい対面営業の展開を継続し、蓄積した情報を基に、取引先の身の丈・ニーズに合った地域密着型金融への取組みに徹し、地域貢献・還元等を行ってまいりました。

・ 20 年度の取組み重点事項と実績

1．ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化への取組み

(1) 創業・新事業への支援

新分野（創業、新事業）進出または事業転換を図る企業に対し、技術支援を行なうため 18 年 12 月に富山県立大学と環境リサイクルに関する連携協力を行なう協定を締結、更に 20 年 2 月には富山大学と産学連携の協力推進に係わる協定を締結し、取引先企業への支援体制を強化しました。20 年 4 月には富山県立大学や富山大学との「産学連携に関する説明会」を開催し、大学側と当庫との協力体制を強化しました。21 年 1 月から 3 月に産学連携ニーズの見込みがある当庫取引事業所を訪問し、産学連携の可能性のある取引事業所に、大学側のコーディネーターとともに研究・開発、生産性の向上等の産学連携を働きかけました。

ベンチャー企業の育成や取引先企業の株式上場を支援するため、業界関連企業のしんきんキャピタルに加え、東京中小企業投資育成（株）の関連ファンドである D I T ファンドへ投資するとともに、新規分野進出企業、事業基盤拡充の資本充実や資本政策の実施が必要な企業を支援するため、20 年 4 月に名古屋中小企業投資育成（株）へ投資いたしました。

(2) 事業再生・経営改善への支援

中小企業再生支援協議会を活用した当金庫取引先の企業再生計画を認可し再生を開始、現在も経営改善中であります。

経営改善計画書を策定し、経営改善に取り組んでいる当金庫取引先企業に対し、経営改善計画の進捗状況および今後の改善について年 2 回、役員会付議会議を実施し、協議・改善の助言を行なう等、事業再生に取り組み、経営改善に効果を上げました。

(3) 事業承継への支援

生産・品質等の技術面でのノウハウの提供や財務面のアドバイス・経営相談等の充実を図るため(株)松下電工創研(16 年 5 月締結：パナソニック電工創研)等のほか、19 年 7 月に新たに都築公認会計士とコンサルティング業務契約を締結し、当金庫職員による事業承継等への提言・助言能力の向上に努め、当金庫取引先へ提言しております。

事業継承の基礎知識・支援のポイント・承継事例等を身に付け、取引先の事業承継の相談等に対応できる人材育成のため、広く当金庫職員を対象に当金庫各専門職員をインストラクターとし、土曜セミナー「中小企業経営支援力増強講座」を実施いたしました。

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底への取組み

(1) 担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み

不動産担保に過度に依存しないため、当金庫独自の動産担保融資「たかしん機械担保ローン」、流動資産担保融資保証制度による売掛金担保融資、譲渡担保を活用した事業運転資金の取組みを推進しました。

地域内の資金循環の効果が期待できる大型資金需要に対するシンジケートローンに参加いたしました。

一時期の原油・原材料高時には、事業者への財務支援に対応するため、新融資商品「たかしんサポート 500」「たかしんサポート」を期間限定（7月1日～9月30日）で発売しました。

(2) 「目利き機能」の発揮に向けた取組み

法人開拓専門チームを編成し、新規先を対象に、担保・保証に頼らず目利き力を重視した開拓活動を実践しました。この実践を通じて、事業所取引開拓の営業力強化に資する内部資源の蓄積を図ったものであり、今後蓄積した内部資源を有効に活用してまいります。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献への取組み

(1) 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み

北陸地区信用金庫協会主催による「しんきんビジネスフェア 2008」への当金庫取引先の出展を通し、取引先の技術ノウハウの売り込みや販路拡大の支援をいたしました。

北陸電力と当金庫取引先企業が連携し、消費電力やCO₂の削減による高い省エネルギー性能を持つ地球環境配慮型の業務用エコキュート推進の事業活動を、地域に根ざす信用金庫として金融機能等の活用を通し積極的に支援いたしました。

(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供

「グローバルイノベーションとものづくり」と題して、佐藤泰樹氏（コマツキャストックス(株)社長）を講師に講演会を開催いたしました。

「中小企業の新規事業開発 - 町工場から上場企業への飛躍 - 」と題して、堀井朝運^{アサカズ}氏（タカノ(株)相談役）を講師に講演会を開催いたしました。

企業の変化の掴み方、財務上の問題点を把握し、取引先の財務・経営相談等に助言・提言できる能力を身に付けて地域企業の活性化に貢献できる人材育成のため、「企業の実態把握向上 - 企業の変化をいかに掴むか」をテーマにして、支店長・融資担当責任者を対象に、都築公認会計士を講師とし研修を実施いたしました。

4．お客様の利便性・満足度の向上への取組み

- (1) 金利優遇定期預金を期間限定（6月30日～8月29日）で発売いたしました。
- (2) CS（顧客満足）向上キャンペーン（7月1日～8月29日）を実施し、お客様に感動を与え、喜んでいただける窓口づくりに努めました。
- (3) 原令子様（社会保険労務士）を招き、「年金セミナー」を開催するとともに、個別年金相談者60名様を対象に年金に関する相談事に応じました。
- (4) お客様の住宅資金の相談にお応えするため、ハウスメーカー主催の住宅相談会に積極的に参加いたしました。
- (5) 万が一の時はご家族の安心を守る商品として、2月2日に傷害保険付定期積金「安心たまる君」を発売しました。（21年7月31日まで）
- (6) 当金庫職員による不祥事件の防止対策として、無作為抽出5万先のお取引先について「お取引残高通知書」を発送いたしました。今後も引き続き、年1回不定期に「お取引残高通知書」を発送いたします。

5．経営の透明性の確保への取組み

- (1) 法定ディスクロージャー誌を年1回発刊（同時にホームページに公表）し、店頭で備え置いております。また、ミニディスクロージャー誌を年2回発刊（同時にホームページに公表）し、当金庫取引先へ配布及び懇親会の集りや視察旅行等の機会に配布し、当金庫の経営状況をお知らせしております。
- (2) 総代会に関する適切なディスクロージャーについて、総代会の制度、総代の任期・定数・選任方法、総代会の決議事項等、詳細に情報を開示しております。

・平成20年度通期「地域密着型金融推進」に係る主要計数の取組み実績

1. ライフサイクルに応じた支援強化の取組み実績

(20年度通期計数に基づく)

主要計数項目	平成20年度通期実績
経営改善支援取組み率(1)	22.5%
再生計画策定率(2)	100.0%
ランクアップ率(3)	2.3%
創業・新事業支援融資実績(件数・金額)	6件・23百万円

(1) 経営改善支援取組み率(22.5%)

= 正常先除く経営改善支援取組み先数(214先)/正常先除く期初債務者数(952先)

(2) 再生計画策定率(100.0%)

= 正常先除く再生計画策定先数(214先)/正常先除く経営改善支援取組み先数(214先)

(3) ランクアップ率(2.3%)

= 正常先除くランクアップ先数(5先)/正常先除く経営改善支援取組み先数(214先)

2. 個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資の取組み実績

(中小企業に適した資金供給手法の徹底)

(20年度通期計数に基づく)

主要計数項目	平成20年度通期実績
動産・債権譲渡担保融資実績(件数・金額)	9件・411百万円
財務制限条項活用融資(件数・金額)	5件・950百万円

以上